

中井支店営農だより②

【キウイフルーツ】

施肥 3月中旬

○キウイフルーツ配合 654 100kg/10a (新梢の充実と初期肥大促進を目的)

病害虫防除 3月上旬(剪定後)

○カイガラムシ類 スプレーオイル 100倍 1000ml/水 100ℓ 混用

アブロード水和剤 収穫前日 2回 1,000倍 100g/水 100ℓ

3月中旬(発芽前)

○キウイヒメヨコバイ アグロスリン乳剤(劇) 収穫7日前 3回 2,000倍 50ml/水 100ℓ

○かいよう病 IC ボルドー66D 収穫後~発芽前 50倍 2ℓ/水 100ℓ

※キウイヒメヨコバイの多発園ではこの時期防除することにより発生を減らすことができます。

【く り】

施肥 3月下旬~4月上旬 化成肥料 14-14-14 60kg/10a(元肥)

【か き】

施肥 2月 柿配合 100kg/10a

【お 茶】

施肥

2月下旬

○足柄茶配合 033 3袋/10a 3月中旬 ○足柄茶配合 033 2袋/10a

病害虫防除 3月上~中旬

○カンザワハダニ バロックフロアブル 摘採 14日前 1回 3,000倍(33ml/水 100ℓ)

又はダニゲッターフロアブル 摘採 7日前 1回 2,000倍(50ml/水 100ℓ)

○もち病 ドイツボルドーA 摘採 14日前 500倍(200g/水 100ℓ)

4月上中旬 ○ツマグロアオカスミカメ多発園キラップフロアブル 摘採7日前 1回 2,000倍(50ml/水 100ℓ)

【ジャガイモ】

芽かき 地上部に出た芽が 10ℓ程度に伸びたら、太い茎を 2本残し他の茎を根元から取る。(特に春作)

追肥・土寄せ 芽かき後、NK化成 1kg/a を施し、株元に 5ℓ程土寄せする。半月後にもう一度NK化成 2kg/a と土寄せを行う。

※ジャガイモは種イモより上にできるので、イモに日光が当たり緑化しないようにしましょう。

※ただし、生育初期から多くの土を寄せると新しいもの生育が遅れる。

【ダイコン】

春まき 3月中旬~4月下旬

畑の準備 苦土タンカルを土になじむよう、播種の半月以上前に畑全体に施し、根が伸びやすいよう、深く耕します。
(40ℓ以上) 元肥は播種 1週間前くらいに畑全体に施し、軽く土と混和する。

○燐加安 MMB262号 10kg/a

播種 点まき 畦間 60ℓ・株間 25ℓ 3粒

【ニンニク】

○春腐病

Z ボルドー 500 倍 200g/水 100 ㍓ または

アグリマイシン 100 収穫7日前 3回 1,000 倍 100g/水 100 ㍓

西湘はるみ米研究会 新規会員募集案内

平成 30 年度に立ち上げたこの研究会は、水稻「はるみ」を品質と食味にこだわって栽培し、研究会ブランド「さかわのめぐみ」の生産・販売に取り組んでいます。

活動内容：勉強会・圃場巡回・土壌診断・定期総会等

募集期間：令和 8 年 2 月 24 日（火）～3 月 23 日（月）

申込方法：最寄りの支店又は営農経済センター（申込書は店舗に用意してあります。）

加入については以下の条件を満たす必要があります。

必須条件	必ず取り組む項目	選択条件	3 つ以上取り組む項目
	栽培面積おおむね 10a（1 反）以上 種子更新率 100% 圃場ごとの生産履歴の提出・GAP の取り組み 調製は 1.8mm 以上で行う		「土壌診断の実施」 「稲わらのすきこみ」 「堆肥の投入」 「春まで 2 回以上耕耘」 「ケイ酸肥料施用」 「化学肥料を県基準慣行の 30%削減」 「化学農薬を県基準慣行の 30%削減」 「地域の水利に合わせた適期中干し」 「疎植栽培（50 株/坪以下）」 「元肥+追肥体系」

※詳細は営農経済センターにお問合せください。

病虫害情報・予報 <small>(神奈川県)</small>	JA メールマガジン登録	JA ネットショップ	JA 有害鳥獣被害届提出
二次元コード 	二次元コード 	二次元コード 	二次元コード 

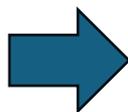
※是非、ご活用ください。

中井支店経済窓口
宅配(佐川急便)受付曜日の変更について

日頃より JA 事業につきましては、皆様方の深いご理解と格別なるご協力を頂き厚く御礼申し上げます。下記により、経済窓口での佐川急便受付曜日が変わります。

【変更前】

月曜日～土曜日
9：00～11：00



【変更後】 令和 8 年 4 月 1 日より

月曜日～金曜日
9：00～11：00

※土曜受付がなくなり、平日のみの受付対応となります。受付時間に変更はありません。